



## 糠塚古墳群

岩月町上田の南西約七〇〇メートル、第三中学校の北にあり、当地方唯一の規模を持つ円墳で、古墳時代の後期に属する六世紀頃の古墳と考えられている。

主墳の糠塚古墳は、高さ三メートル、長径一三メートル、周囲約九六メートルの規模を持つ。この北約一一〇メートルには、粉糠塚（小糠塚）があり、高さは二メートル、周囲は約四二メートルあり、この二つの円墳が県指定史跡の糠塚古墳群である。

糠塚円墳の北西約一〇〇メートル、山首神社の建立地の円丘状もこの種の円墳で、高さ約一・二メートル周囲約五六メートルの規模を持つ。地域の人々によれば、この地域にはこのほかに四カ所、計七カ所の古墳があるとも言われている。

所在地 岩月町宮津字宮地

指定年月日 昭和四十四年四月十一日